

平成 25 年度財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建 物・・・・・・定額法（該当なし）

什器備品・・・・・・定率法（該当なし）

(2) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借り主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、未経過リース料総額は 17,325 円であり（平成 25 年 6 月にて終了）、再リースの支払額は、パソコン 2 件合計 13,986 円である。

(3) 消費税等の会計処理

税込経理方式を採用している。

2. 会計方針の変更

会計方針は発生主義によって計上しており、変更はない。

3. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残額は次のとおり。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	10,000,000	0	0	10,000,000

4. 基本財産の財源等の内訳

（単位：円）

科 目	当期末残高	備 考
基本財産 定期預金	10,000,000	三菱UFJ信託銀行名古屋支店

5. 特定資産「登録意匠デジタル化積立資産定期預金」について

当法人設立以来、保全登録された意匠(食器、ノベルティ、タイル)約 18 万件の紙媒体データのうち、食器意匠約 10 万件についてデジタル化し、検索キーワードを付したデータベースの構築を行うための定期預金。事業期間は平成 25 年度から約 3 年間を予定。

・特定資産の明細

(単位：円)

資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
登録意匠 デジタル化 積立資産	9,530,000	0	4,833,605	4,696,395

6. 「建物」勘定及び固定負債「資産見返り額」勘定について

「建物」勘定は現在入居する「日本陶磁器センタービル」(昭和 33(1958)年 4 月起工、同年 12 月完成)の建設費の本財団負担分に関わるものであって全額償却済みだが、備忘価額として表示している。当該ビルの管理は一般財団法人日本陶業連盟が行っている。

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 保証債務等の偶発債務

該当なし

9. 重要な後発事象

特になし

以上